



# ふくいんを かいふくしよう

使徒  
1章 14節

この人たちは、婦人たちやイエスの母マリヤ、およびイエスの兄弟たちとともに、みな心を合わせ、祈りに専念していた。

初代教会ができたとき、イスラエルは、ローマという強大国に支配されて、苦しめられていました。そのとき、福音を伝える初代教会は、濡れ衣を着せられました。ところが、このことのために、奇跡と病気がいやされた人々はもちろん、イエス様に従っていた多くの人々が逃げました。反対に、最も福音を愛していた弟子と女の人たちは離れて行くことなく、集まって祈りました。このとき、神の国が現場に臨む祝福と、聖霊が満たされるようになる働きが起きました。その結果、福音を回復した弟子たちは、国を奪われたイスラエルの運命に勝って、世界を福音で征服する証人になりました。

いま、私の心を痛くする問題がありますか。イエス様の弟子と女の人たちが集まって祈ったように、イエス・キリストの御名で祈りましょう。福音を回復すれば、現場に神の国が臨んで、神様の計画を見つけるようになるでしょう。その奥義をずっと味わえば、私は小さくても、現場を変える答えの主人公になるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

父なる神様！初代教会のイエス様の弟子と女の人たちのように、福音を回復して、祈る人になりますように。福音を味わって、あかしする証人となりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

聖書には、福音を回復するレムナントに与えられた約束があります。下の聖書箇所記録された約束を読んで、上からなぞって書いて私の心に刻みましょう。

マタイ 28:18~20

イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。  
 「わたしには天においても、地においても、  
 いっさいの権威が与えられています。  
 それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の  
 人々を弟子としなさい。そして、父、子、聖霊  
 の御名によってバプテスマを受け、また、  
 わたしがあなたがたに命じておいたすべての  
 ことを守るように、彼らを教えなさい。見よ。  
 わたしは、世の終わりまで、いつも、  
 あなたがたとともにいます。」



きょうのでんどう

会う人

準備する資料

Blank grid area for writing names of people met and preparation materials.



# げんばで きょうかいを かいふくしよう

かようび

使徒  
11章 19節

さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかつた。

教会をどのように思っていますか。「私の教会は大きいです」「私の教会は遠いです」「私の教会には友だちがたくさんいます」など、多くの考えが浮ぶでしょう。神様は、教会を大切に思っておられます。私たちにくださった福音を味わいながら確認して伝える教会として、私たちを呼ばれたためです。

遠い以前に立てられた初代教会が福音を回復したとき、福音を伝えることを防いで苦しめた人がたくさんいました。そのとき、ステパノ執事は、福音を伝えて殉教しました。そののち、困難を経験した多くの人が、いろいろな所に散らされました。ところが、不思議なことが起きました。散らされた現場で異邦人に福音を伝える世界宣教の門が開かれて、あちこちに教会が立てられる祝福が始まったのです。

神様は、私たちが行く学校、塾、教会、家庭など、すべての現場でも教会の祝福を回復させてくださるでしょう。この事実を記憶しながら、神様に今日の祈りをしましょう！



みことば

Blank writing lines for the word study section.



きょうのいのり

父なる神様！福音を味わって伝える教会の祝福をくださって、ありがとうございます。この祝福を現場でも味わうように導いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さがして書こう

聖書には教会をどのように記録しているのかな。  
下の聖書箇所を直接開けて探して、書いてみよう



エペソ1章20~23節のみことば



みことばのでんどう

会う人

準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.



# よのなかを いかす ひとり

すいようび

使徒  
19章 21節

これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニアとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行くから、ローマも見なければならない」と言った。

大部分の人は、神様を離れた原罪と、目に見えないのですが、今でも続く災いのろい、悪い霊が攻撃する世の中で苦しみながら生きています。しかし、神様はこのよな世の中を生かせるひとりを探しておられます。今日、パウロの働きを通して、その証拠を確認しましょう。

パウロは、本来イエスがキリストだという福音を伝えるという理由で、初代教会の信徒を迫害した人です。ところが、パウロが福音を伝える人々をつかまえにダマスコに行こうとしたある日、復活されたイエス様が彼を訪ねてこられました。そして、パウロを助けるアナニヤに会うようにされました。アナニヤは、ダマスコに住んでいた弟子でした。アナニヤに会った迫害者パウロは、福音を回復して多くの人を生かしながら、世界福音化に用いられるようになりました。ひとりを通して世界を生かす初めての宣教師としてパウロとバルナバが派遣されたのです。それだけでなく、あちこちに弟子を見つけて立てる、崩れない伝道と宣教の祝福を味わいながら、多くの人を生かしました。

神様はパウロとアナニヤのようなひとりを探しておられます。今から世の中を生かすそのひとりに私になることを祈りましょう！

## このみことば


Blank lines for writing reflections on the passage.

## このいのり

父なる神様！この世を生かすひとりとして、福音を味わうレムナントにならせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



8月のなやみはなにかな



パク・ウヨン牧師夫人！  
わたし、  
なやんでいます！

Q 福音を伝えるのに、友だちが断ればどのように答えたらよいのでしょうか

クオン・ソウン レムナント/イエウオン教会

ソウン・レムナント！ほんとうに、すてきな悩みです。ソウンは、伝道に関心があるレムナントですね。友だちが福音を断れば、良い友だち関係が悪くなるかと心配になるのだけれど、どうにかして福音を言ってあげたいのですね。

無条件に福音を伝えるのではなく、友だちのことを祈りながら研究してみればどうでしょうか。神様が時刻表をくださる時まで毎日挑戦しましょう。友だちがなにが上手にできて、どんな遊びや食べ物が好きなのか、苦しんでいる部分や悩みはなにか、関心はなにか、ということです。また、家族関係はどうなのか、などいろいろ友だちに関して伝道を思いながら研究しましょう。そのとき、暗やみを縛りながら、友だちに関して知ることになった部分をメモしながらです。そうすれば、ある日、友だちが持っている問題が見える日がきます。その問題に合う伝道トラクトをわたしながら「読んでみる？」と言ってみましょう。その瞬間の友だちが見せる反応もメモしましょう。

もし「こんなことは関心ないの」と言って、伝道トラクトを受け取らないなら、「私はいつもあなたが幸せだったらいいよ」と話してみてください。伝道は友だちを教会に連れて来る単純なことではありません。現場で霊的主導権を握る、とても重要なことです。あきらめずに、つづけて挑戦しましょう！

## このでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.



# かみさまが ねがわれる しょうにん

使徒  
1章1節

テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き、

医者いしやのルカは、聖霊せいれいの感動かんとうでイエスがキリストであるという証拠しょうこをルカの福音書ふくいんしょに記録きろくしました。彼は医者であり、パウロを助ける人で、同労者どうろうしやであり、使徒の働きかみを記録きろくしたりもしました。そのときは、いまのように文章ぶんしょうを記録きろくするコンピュータや紙かみがなかった時代じだいでした。ばく大な量りやうの巻き物まものに、みことばを記録きろくしなければならなかったのです。これは、ルカにはキリストが唯一ゆいいつの答えこたという、とても重要じゆうような事実じじつに確信かくしんがあったので、できたことでした。世の中よなかは、どんどん人も環境かんきやうも、病気びやうきになっていっています。人々ひとびとを助ける科学かがく、医療いりやうも必要ひつようですが、福音ふくいんを伝える証人つたが最も必要もっとひつようです。ルカのようにということです。では、神様かみさまが願ねがわれる証人しょうにんはだれでしょうか。

最初に、キリストが「ただ」だと信じて語る証人つたです。二つ目、神様かみさまがくださる力ちからと知恵ちえから出てくる唯一性ゆいいつせいの答えこたを体験たいけんした証人しょうにんです。三つ目、福音ふくいんですべてのことを変える再創造さいぞうぞうの主人公しゅじんこうです。神様かみさまは、私わたしが家庭かてい、学校がっこうで証人しょうにんになることを願ねがっておられます。福音ふくいんによって正しい考えかんがと信仰しんこうを持って今いまから祈いのりましょう。神様かみさまが私わたしを通して働はたらかれるでしょう！

きょうのみことば

きょうのいのり

父なる神様！私を福音を伝える証人として呼んでくださってありがとうございます。医者ルカのように、イエスがキリストだという福音を伝える証人になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

産業宣教メッセージ | 2017.4.15



医者ルカがテオピロ総督に伝える手紙を書いています。  
手紙を書いているルカの姿を見て、隠れている絵を探しましょう

絵をさがそう



ヨット、かたつむり、鐘、魚

きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゆんび  
準備する資料



# こたえをみるめ

きんようび

## ヘブル 11章 1~3節

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。昔の人々はこの信仰によって称賛されました。信仰によって、私たちは、この世界が神のことで造られたことを悟り、したがって、見えるものが目に見えるものからできたのではないことを悟るのです。

顕微鏡で、目には見えない小さい「かび」を見たことはありますか。普段は見る事ができない形が見えるでしょう。このように、人の目では見ることより、見えないことのほうがもっと多いのです。ですから、目に見えないことは、ないのだと思っはけません。

神様は、私たちの目では見えないのですが、みことばとして来られて、聖書を残されました。また、神の子どもとともにおられるために、キリストであるイエス様として来られて、ともにいてくださいます。このように、たしかにおられる神様がくださる答えは、目に見えないことがもっと多いのです。聖書には、この事実をよく知っていた信仰の人々が答えを見る目を持つようになったことが、たくさん記録されています。その人々は、とても小さいことが与えられても、イエス・キリストの御名で祈れば答えを受けて、自分の誤った部分が回復するという奥義を知りました。

私たちが答えを見る正しい目を持つことができます。なにをしても、イエス・キリストの御名で祈りましょう。そうすれば、神様がくださった身分と權威を味わって、まことの答えの主人公になるでしょう。

### きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

### きょうのいのり

父なる神様！私の霊的な目を開いてください。イエスがキリストであり、すべての問題を解決して下さって、ともにおられるという祝福を答えとして味わうことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



### 絵をかこう

イエス・キリストの御名によって祈りながら、下の目に見える点をつなげましょう。目に見えなかった雲が出てくるでしょう。



### きょうのでんどう

あひと  
会う人

じゅんび  
準備する資料

Blank space for writing names and preparation materials.



# 02

とよび

## みことばを なしとげられる かみさま

### I コリント 15章3~4節

私<sup>わたし</sup>があなたがたに<sup>あなた</sup>最も<sup>もっと</sup>たいせつな<sup>つた</sup>こととして<sup>つた</sup>伝えた<sup>つた</sup>のは、私<sup>わたし</sup>も受けた<sup>うけた</sup>ことであって、  
次<sup>つぎ</sup>のことです。キリストは、聖書<sup>せいしょ</sup>の示<sup>し</sup>すとおりに、私<sup>わたし</sup>たちの罪<sup>つみ</sup>のために死<sup>し</sup>なれたこと、  
また、葬<sup>ほうむ</sup>られたこと、また、聖書<sup>せいしょ</sup>の示<sup>し</sup>すとおりに、三日<sup>みっか</sup>目<sup>め</sup>によみがえられたこと、

人はだれでも、これから私<sup>わたし</sup>に起きる<sup>おきる</sup>事を<sup>こと</sup>正確<sup>せいさく</sup>に知る<sup>し</sup>ことはできません。未来<sup>みらい</sup>に対して<sup>たいして</sup>  
不安<sup>ふあん</sup>な心<sup>こころ</sup>になったり、心配<sup>しんぱい</sup>になることともあります。神<sup>かみ</sup>の子どもである<sup>ある</sup>私<sup>わたし</sup>たちも、その  
ような心<sup>こころ</sup>と思<sup>おも</sup>いになります。しかし、心配<sup>しんぱい</sup>しなくても良い<sup>よい</sup>のです。神<sup>かみ</sup>様が<sup>さま</sup>聖書<sup>せいしょ</sup>に記録<sup>きらく</sup>され  
た預言<sup>よげん</sup>のみことばで、私<sup>わたし</sup>たちの過去<sup>かこ</sup>、今<sup>いま</sup>、未来<sup>みらい</sup>を知らせてくださるからです。今日の黙想<sup>もくそう</sup>  
のみことばのように、イエス様<sup>さま</sup>が私<sup>わたし</sup>たちの救<sup>すく</sup>い主<sup>ぬし</sup>となるために、この地<sup>ち</sup>に来<sup>こ</sup>られること  
(創世記3:15; イザヤ7:14) いちど死<sup>し</sup>んで復活<sup>ふっかつ</sup>されること (イザヤ53:4-6; 詩16:10) も、  
聖書<sup>せいしょ</sup>に預言<sup>よげん</sup>されていました。

神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>のみことばは必ず<sup>かならず</sup>成就<sup>じゅうじゆ</sup>して、神<sup>かみ</sup>の子どもはそのみことば成就<sup>じゅうじゆ</sup>を見る<sup>みる</sup>証人<sup>しやうにん</sup>なので  
す。このことを成<sup>な</sup>し遂<sup>と</sup>げる私<sup>わたし</sup>たちが実践<sup>じっせん</sup>すべきひとつのことがあります。教会<sup>きやうかい</sup>学校の講  
壇<sup>だん</sup>からくださるみことばを信<sup>しん</sup>じて記録<sup>きらく</sup>して、毎日<sup>まいにち</sup>〈子どもの祈<sup>いの</sup>りの手帳<sup>てしやう</sup>〉といっしょに黙想<sup>もくそう</sup>  
しましょう。そして、神<sup>かみ</sup>様が<sup>さま</sup>必ず<sup>かならず</sup>成<sup>な</sup>し遂<sup>と</sup>げられるみことばだと信<sup>しん</sup>じて、心<sup>こころ</sup>に刻<sup>きざ</sup>みましょ  
う。神<sup>かみ</sup>様が<sup>さま</sup>その人<sup>ひと</sup>を通して、みことばを成<sup>な</sup>し遂<sup>と</sup>げてくださいる答<sup>こた</sup>えを見<sup>み</sup>るでしょう!



### きょうのみことば

Blank lines for writing the daily word.

### きょうのいのり

父<sup>ちち</sup>なる神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>！聖書<sup>せいしょ</sup>どおり<sup>どおり</sup>に死<sup>し</sup>なれ、よみがえられた<sup>わしたし</sup>キリストが、私<sup>わたし</sup>とともにおら  
れることをありがとう<sup>ありがとう</sup>ございます。いま、私<sup>わたし</sup>を通して成<sup>な</sup>し遂<sup>と</sup>げられるみことばを  
握<sup>にぎ</sup>るように、私<sup>わたし</sup>を導<sup>みちび</sup>いてください。生きておられるイエス・キリストのお名前<sup>なまえ</sup>に  
よってお祈<sup>いの</sup>りします。アーメン



たくさん聞<sup>き</sup>いているけれど、くわしく知<sup>し</sup>らない生活<sup>せいかつ</sup>常識<sup>じょうしき</sup>を点検<sup>てんけん</sup>しよう

生活<sup>せいかつ</sup>常識<sup>じょうしき</sup>

### クリック！知識<sup>ちしき</sup>辞典<sup>じてん</sup>

### ユダヤ人<sup>じん</sup>教育<sup>きょういく</sup>法<sup>ぽう</sup> 「ハブルータ」(chavruta)



ハブルータは、友<sup>とも</sup>だちを意味<sup>いみ</sup>するヘブライ語<sup>ご</sup>、ハベル(חֶבֶל)に由来<sup>ゆらい</sup>する用語<sup>じょうご</sup>です。学  
生<sup>せい</sup>たちが2人1組<sup>ふたりひとくみ</sup>になって、おたがいに質<sup>しつもん</sup>問<sup>もん</sup>をやりとりしながら論争<sup>ろんそう</sup>するユダヤ人<sup>にん</sup>の伝  
統<sup>でん</sup>的な討論<sup>とうろん</sup>教育<sup>きょういく</sup>方法<sup>ほうほう</sup>です。ユダヤ教<sup>きやう</sup>経典<sup>きやうてん</sup>である《タルムード》を勉強<sup>べんきやう</sup>するとき、  
おもに使<sup>つか</sup>われます。年<sup>ねん</sup>齢<sup>れい</sup>と性<sup>せい</sup>別<sup>べつ</sup>、階<sup>かい</sup>級<sup>きゅう</sup>に差<sup>さ</sup>をつけな<sup>な</sup>いで、二人<sup>ふたり</sup>ずつペアを組<sup>くみ</sup>んで勉強<sup>べんきやう</sup>  
しながら論争<sup>ろんそう</sup>を通して真<sup>ま</sup>理<sup>り</sup>を求<sup>もと</sup>めて行<sup>い</sup>く方式<sup>きしき</sup>です。このとき、親<sup>おや</sup>と先生<sup>せんせい</sup>は、学<sup>がく</sup>生<sup>せい</sup>が思<sup>おも</sup>い  
きり質<sup>しつもん</sup>問<sup>もん</sup>できる環<sup>かん</sup>境<sup>きやう</sup>を作<sup>つく</sup>ってあげて、学<sup>がく</sup>生<sup>せい</sup>が自<sup>みづか</sup>ら答<sup>こた</sup>えを見<sup>み</sup>つけるように誘<sup>いざな</sup>導<sup>どう</sup>する役<sup>やく</sup>割<sup>わり</sup>  
をします。

ハブルータは、疎<sup>そ</sup>通<sup>つう</sup>をしながら答<sup>こた</sup>えを探<sup>さが</sup>していく過<sup>か</sup>程<sup>てい</sup>の中<sup>なか</sup>で、多<sup>た</sup>層<sup>そう</sup>的に知<sup>ち</sup>識<sup>しき</sup>を理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>  
して、問<sup>もん</sup>題<sup>だい</sup>をして解<sup>かい</sup>決<sup>けつ</sup>するとい<sup>い</sup>う長<sup>ちやう</sup>所<sup>じよ</sup>がありま<sup>ま</sup>す。一つ<sup>ひとつ</sup>の主<sup>しゆ</sup>題<sup>だい</sup>に對<sup>たい</sup>する賛<sup>さん</sup>成<sup>せい</sup>、反<sup>はん</sup>對<sup>たい</sup>の  
両<sup>りやう</sup>論<sup>ろん</sup>を同<sup>どう</sup>時<sup>じ</sup>に経<sup>けい</sup>験<sup>けん</sup>するよ<sup>よ</sup>うになるの<sup>の</sup>で、新<sup>あたら</sup>しいアイディアと解<sup>かい</sup>決<sup>けつ</sup>法<sup>ぽう</sup>を引<sup>ひ</sup>き出<sup>だ</sup>すこと  
もできま<sup>ま</sup>す。このよ<sup>よ</sup>うに質<sup>しつもん</sup>問<sup>もん</sup>する習<sup>しゆ</sup>慣<sup>かん</sup>のおかげ<sup>かげ</sup>で、アルバート・アインシュタイン、ス  
チーブ<sup>スチーブ</sup>ン・スピルバ<sup>スピルバ</sup>グなど、現<sup>げん</sup>在<sup>ざい</sup>、各<sup>かく</sup>分<sup>ぶん</sup>野<sup>や</sup>で優<sup>ゆう</sup>れた活<sup>かつ</sup>動<sup>どう</sup>をしてい<sup>い</sup>るユダヤ人<sup>じん</sup>が多<sup>おほ</sup>いと  
いうこと  
もできま<sup>ま</sup>す。レムナントも、みことばを讀<sup>よ</sup>んで聞<sup>き</sup>きながらフォーラムをしてみ  
ましょ<sup>う</sup>。ユダヤ人<sup>じん</sup>を越<sup>ちやう</sup>越<sup>えつ</sup>する神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>の知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>を得<sup>え</sup>るレムナントだけ<sup>だけ</sup>の「ハブルータ」を  
実<sup>じつ</sup>践<sup>けん</sup>してみましょ<sup>う</sup>。

### きょうのでんどう

### あひと 会<sup>かい</sup>人<sup>にん</sup>

### じゆんび 準<sup>じゆん</sup>備<sup>び</sup>する資<sup>し</sup>料<sup>りやう</sup>

Blank lines for writing the devotion and preparation materials.